

振興会 だより

令和6年7月25日発行
編集・発行 振興会
羽田地区センター
羽田地区

ビアガーデン2024開催

好天にも恵まれ、成功裡に終了!

“ビアガーデン”24が、7月13日(土)午後4時から、旧まさの様駐車場で開催されました。



「賑わいのあ
るまちづくり」
を企図して、振
興会商工観光部
会が中心となり
企画した事業
で、商工会と共
催して開催にこ
ぎつけました。

好天にも恵ま
れ、多くの方が
足を運ばれ、羽
田の中心街に、
久方ぶりに賑わ
いがみられたこ
とは、まさに特筆すべきことです。
内容も、バンド演奏、お楽しみ抽
選会と充実したものでなりました。

太田和美さんのお話

「地域おこし協力隊」

7月4日(木)、定例
区長会が開催されまし
た。その開会に先立ち、
地域おこし協力隊とし
て、羽田で活動する太
田和美さんにお話をし
ていただきました。
その要旨は、①職人
への憧れ、祖母が茶道
を嗜んでいたこと、パ
ートナーの故郷が奥州
市であることから、奥
州市に移住した。②ミ

次年度以降、この企画を継続させ
ることと、反省を踏まえ、より良い
内容とすることが課題となります。



ッションは南部鉄器のPRと後継者
育成。③プロジェクトの目的は、南
部鉄器の継承と、職人と一緒に続け
てきたスナック喫茶の継承。④背景
には、半世紀、営業してきた「スナ
ック喫茶チロル」の閉店があり、チ
ロルの存在は南部鉄器がこれからつ
くっていく歴史にも大きく関わると
いう確信がある。以上4点でした。
現在、鐵喫茶「あうん」の開店に
向け改装中で、その資金調達のため
クラウドファンディングを実施中。
オープンは9月28日(土)です。

国、市、地元が

共同で点検・情報共有

水防箇所合同巡視

6月20日(木)、令和6年度重要水
防箇所合同巡視が行われました。

この巡視は、洪水に対してリスク
が高い区間(重要水防箇所等)を岩
手河川国道事務所と地方公共団体、
地区振興会等と共同して点検を行
い、避難を促す緊急行動に向け情報
共有するために行われるものです。

羽田地区から、振興会長、地区セ
ンター長、消防団第8・9分団副分
団長が参加し、カスリン・アイオン
台風来襲時に決壊した伊手川と人首
川の合流地点で、岩手河川国道事務
所から「北上川、人首川の越水(溢
水)、基礎地盤漏水、旧川跡(漏水)、
破堤跡(漏水等)」について、地図を
基に説明を受けました。

現場と資料を見て、洪水に対する
備えの重要性を再認識しました。

羽田地区センター 地域活動員を募集

羽田地区振興会は、羽田地区セン
ターの地域活動員を募集します。

詳細は、別紙「地域活動員募集要
項」のチラシをご覧ください。

社福羽田支部が研修

「一般社団法人はなやまネットワーク」視察

水沢地域福祉推進協議会羽田支部（小笠原カノエ支部長）は、6月21日（金）に、視察研修を実施しました。

この研修には、福祉活動推進委員の行政区長、民生児童委員、主任児童委員、各行政区自治的団体の関係者等から22名、事務局から2名、計24名が参加しました。

今年度の研修は、地域福祉の充実



と住みよいまちづくりを生かすことを目的として、「一般社団法人はなやまネットワーク」を視察しました。

1 栗原市花山地区の概要

宮城県北西部に位置し、人口約千人弱、高齢化率50%を超える山村

2 「はなやまネットワーク」概要

「自分たちでできることは、自分たちでやっつけていこう！」という志で、持続可能な地域づくりを目指すため、花山地区に住む有志がこの団体を発足

3 「ネットワーク」の組織体制

総会―理事会―事務局―4部会（コミュニケーション、生活・福祉、交流・移住、産業・環境衛生の各部会）で構成

4 令和5年度「内閣総理大臣賞」受賞。その根拠

住民アンケートを基に「花山地区『小さな拠点』づくり構想」を策定し、地域住民主体で人口問題や交通問題、買物問題、空き家問題、震災などの課題に取り組み。交流・移住体験プロジェクトではこれ

まで27名の移住者を呼び込んだ。空き家活用プロジェクトでは空き家の片付けと移住者の入居を実現。生活支援では、移動販売車やデマンド型乗合交通の運行、地元産品の物販やユニユニティー活動を行う拠点の運営にも取り組む。令和4年度には、8年ぶりの住民アンケートを行い、新たなニーズの把握や活動の改善につなげている。

5 視察の総括

地域おこし協力隊9名が配置され斬新なアイデアを取り入れ、法人化のメリットを活かし、機能的・効率的な運営が行われている。

7月6日（月）

「かたりあいの輪」

福祉懇談会が開催

7月6日（月）午前10時より、地区センターにおいて、かたりあいの輪福祉懇談会が開催されました。

社福から、「奥州市社会福祉協議会の実施する地域福祉活動について」、「令和6年度『生活課題を抱えた世帯支援活動助成』」について説明がありました。

その後、「支えあい協賛金の会費への一元化について」の説明と、質疑応答がありました。

☆社福の説明要旨

- ・ ささえあい協賛金を廃止して、会費に一元化する案とする
- ・ 会費を九百円から千円に増額し増額した部分から統一した基準による地区福祉推進組織への助成金を支出する
- ・ 助成金の取扱いは、一般会費の納入世帯数に単価百六十円を乗じた額を基本とする
- ・ 今後の取扱いは、市民から意見を聴いたうえで、年末頃、決定をして、その後周知を図り、令和7年4月の施行を予定している
- ☆質問・意見・要望等
- ・ 会費を千円に設定できないか
- ・ もう1回、懇談会を設定しては

